

宣長の世界



宣長の世界を、思い切って外側から眺めてみることにしましょう。

奥州を旅した菅江真澄は、異境の地でどのように宣長を読んだのか。盃三つより上……と叱った賢母・勝と、実家・新町の村田家の歴史。宣長の『古事記伝』は日本神話への扉を開きましたが、宣長と私たちが頭の中で描く神々の世界とは同じ？ きっと隔たりがあるはず。では、私たちのイメージする神話世界はどのように形成されていったのでしょうか。

宣長の人格形成、学問に計り知れないほどの影響を与えた堀景山や契沖を、一度、宣長から切り離して、その人と学問を見つめてみる。『萬葉集』や『源氏物語』がどのように読まれてきたのか辿ってみる。近世の松阪はどんな町だったのかを、あえて宣長の視点を外して語ってみる。

でも、どれだけ切り離してみても、やっぱり、『宣長抜きでは語れない』ところがあるはず。皆さんにそれを確認していただく、ちょっと新鮮な角度からの十話です。

【日時】毎月第3土曜日 午後2時～（4月、8月を除く）

【場所】本居会館（本居宣長ノ宮 敷地内）※今年度から会場が変わります（裏面参照）

【受講料】1000円（全10講分資料代）

◇お申し込み：平成30年4月21日（土）

第35回鈴屋学会大会 公開講演会会場（松阪市産業振興センター）

※4月22日以降は、本居宣長記念館での受付となります※

◇お申し込み・お問い合わせ

本居宣長記念館 〒515-0073 松阪市殿町1536-7

TEL：0598-21-0312 / FAX：0598-21-0371

平成30年

5月19日（土）宣長著作を実地に生かした菅江真澄

6月16日（土）宣長一萬葉のことば三題

7月21日（土）契沖と宣長 それぞれのその後

9月15日（土）『古事記』・『日本書紀』の神話はどのように受容されてきたのか

10月20日（土）宣長の母の実家・村田家と小津家

11月17日（土）京都遊学中の師・堀景山について ―その学問観と人物像―

12月15日（土）『源氏物語』の世界 ―宣長以前、宣長以後―

菅江真澄研究会

金児 絃征

廣岡 義隆

関西大学

乾 善彦

帝塚山学院大学

及川 智早

松阪商人を語る会

大喜多 甫文

盛岡大学

高橋 俊和

皇學館大学

中川 照将

平成31年

1月19日（土）宣長の出版と文庫設立計画

2月16日（土）宣長はどんな人か ―それぞれとの交流から―

3月16日（土）宣長の時代の松阪と文化

中京大学

中川 豊

本居宣長記念館

西山 杏奈

松本 吉弘

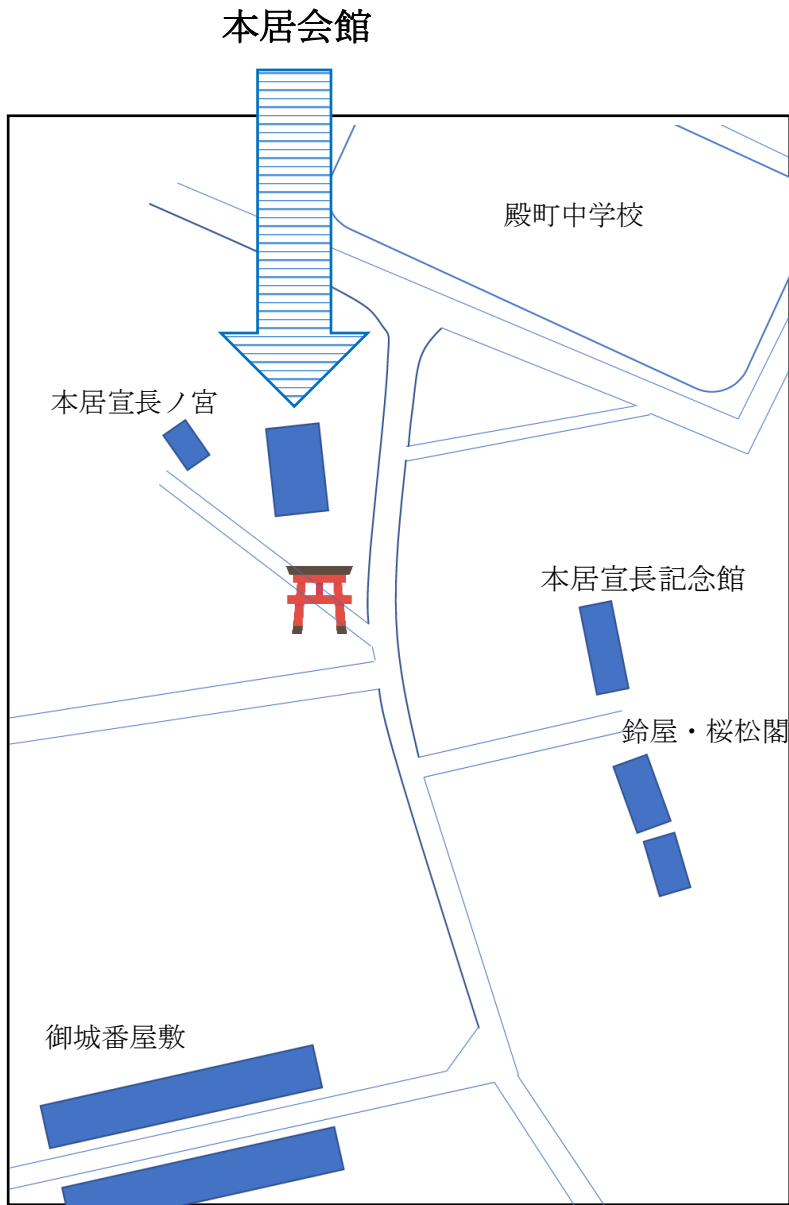
キリトリ 受講申込書

ふりがな	性別	年齢	歳
名前	電話番号		
〒 住所			

※お名前には必ず、ふりがなをお書きください。ご住所は、郵便番号・番地も明記してください。

平成 30 年度 宣長十講 会場案内

本居会館（本居宣長ノ宮内）三重県松阪市殿町 1533 番地 2 ※前年度までの会場から変更になります。



本居宣長ノ宮の鳥居を入り、参道の途中、
右手奥にある建物が、本居会館です。

※駐車場は坂の上になりますので、
なるべく松阪市の駐車場へお停めください。